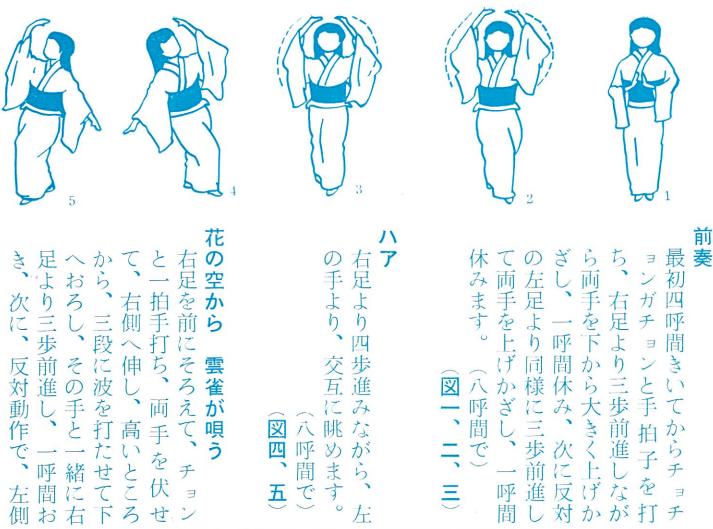


新民謡 横井俊郎作・編曲
福生よいとこ



福生よいとこ

前奏

最初四呼間きいてからチヨチヨンガチヨンと手拍子を打ち、右足より三歩前進しながら両手を下から大きく上げかさし、一呼間休み、次に反対の左足より同様に三歩前進して両手を上げかざし、一呼間休みます。(八呼間で)

(図一、二、三)

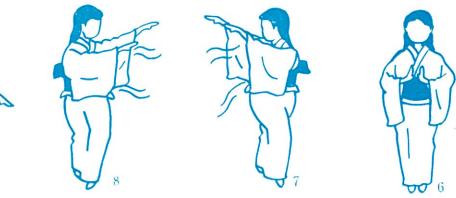
ハア 右足より四歩進みながら、左手より、交互に眺めます。(八呼間で)

(図四、五)

花の空から 雲雀が唄う

右足を前にそろえて、チヨンと一拍手打ち、両手を伏せて、右側へ伸し、高いところから、三段に波を打たせて下へおろし、その手と一緒に右足より三歩前進し、一呼間おき、次に、反対動作で、左側

△振付▽三 藤 祥 園



内になって踊る場合は時計の反対方向に進みます。手拍子を数えずに五つの振りのくり返しになっております。

(図六、七、八)

ハア 富士のお山よ
ちよいと見ておくれ
心ひとつに ヨイトコラサッサ
変わりないのは ヨイトコラサッサ
伸びる福生の 晴れ姿
あつい情けに 月のかげ

ハア 嫁にするなら 福生の娘
多摩の流れに ヨイトコラサッサ
磨きぬかれた 玉の肌
ハア 日毎折ける 武藏野台地
恋の二人にや ヨイトコラサッサ
銀座通りが 天の川

ハア 織田の娘
涙こらえて 身をこがす
おなじ運命の ホホホ ほたる
恋の道には ホホホ ほたる
さても似合いの 星あかり
ササ 星あかり

しおび逢う夜は 瞬が怖い
街のネオンも 気にかかる
恋の道には ホホホ ほたる
さても似合いの 星あかり
ササ 星あかり

誰が呼ぶやら こつちの水ア甘い
女ごころも 知らないで
苦い浮世も ホホホ ほたる
二人づれなら 乙なもの
ササ 乙なもの

(4分00秒)

(4分02秒)

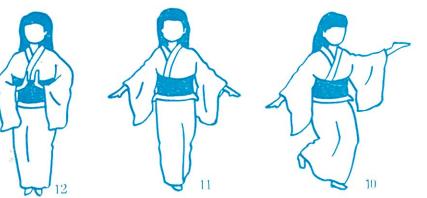
新民謡 横井俊郎作・編曲
ほたる小唄

△三味線▽藤本秀三
△貼はやし▽キンゲ民謡合唱團
キングオーケストラ

△三味線▽藤本秀子
キングオーケストラ

ハア 花の空から 雲雀が唄う
街の中から ヨイトコラサッサ
福が生まれる 夢が湧く
(福生よいとこ コラサッサ)
みんな揃つて キタサッサ

つづじ咲く頃 ひと目で惚れて
忘れられない さつき頃
情けあるなら ホホホ ほたる
せめて伝えて 胸のうち
ササ 胸のうち



△(福生よいとこコラサッサ)
みんな揃つて キタサッサ
上っているその右足を進行方向に出し、両手を下の方で開いて両足を踏みかえて後へそろえ、チヨチヨンガチヨンと手拍子を打ち始めの一の振りに戻ります。以上をくり返し踊つて行きます、と最後はちょうど両手を上げかざした一のホールズで終わりになります。
(図十一、十二)

(3)

(2)